



ハナミズキ hanamizuki

2022・8月

★今更ですが、5S活動の重要性について再確認しましょう！

5Sとは、整理、整頓、清掃、清潔、躰（習慣）のことで、「安全」「効率的」「快適」の3つを目標として、様々な分野で取り組まれており、医療界でも安全の基本とも言われます。



循環器外来

整理とは、
「要るモノ、要らないモノ、急がないモノに分けて、要らないモノを徹底的に処分すること」です。
要るモノと要らないモノが入り混じった状態では、必要なモノを見つけるのが遅くなり、**非効率的**で、**働きにくい環境**になっていきます。



東7病棟

躰（習慣）とは、

「清潔な状態が習慣化し、当たり前になっている状態」を言います。

5Sで言う“しつけ”は上記の清潔な状態が習慣化されて、みんなが当たり前にならないうちに無意識にできている状態のことです。

このレベルになると、みんなが些細なことに気が付くようになり、**異常をいち早く発見**して早期に改善していくことができます。

整頓とは、

「必要なモノをいつでも誰でもすぐに取り出せる状態にすること」です。
新入職員や勤務異動した場合でも、**迷わずすぐに使える状態**にすることが大切です。
共有で使うモノが、使用後に元の場所に戻されていないと、その都度「探す」という無駄な時間が発生します。
無駄のない効率的な作業のために整頓は欠かせません。

清潔とは、

「整理、整頓、清掃の3Sが標準化されて維持されている状態」を言います。

大事なのは“整った”“使いやすい”“きれい”な環境を維持していくことであり、そのためには全てにルールを決めて標準化し、それを**みんなが守れる仕組み**を作る必要があります。そうすることで、**医療現場を安全で衛生的な環境**にしていけることができます。

清掃とは、

「誰がやっても同じきれいな状態を維持すること」です。
“きれい”と感じる基準は人によって違います。医療現場では衛生管理が重要課題であり、**「きれいの基準」をみんなで統一**して、常に一定の“きれいな状態”を維持していくことが大切です。また、日頃からのルールに沿った清掃は“点検”にもなり、異常を発見しやすくなります。



放科受付



西6病棟



リハビリ

★「ヒヤッとしたり」「危なかった！」そんな時は、AKIRSレベルOで情報共有しましょう！★

*** 今後とも、医療安全対策にご理解とご協力をお願い致します ***